

競技注意事項

1. 規則について

本競技会は 2010 年度(財)日本陸上競技連盟及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習場について

- (1) バックスタンド裏の練習場で練習を行うこと。それ以外の練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分に配慮すること。
- (2) 投擲練習は禁止する。練習は 2 次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。

3. 招集について

- (1) 1 次招集は競技場の室内練習場内の競技者係で行う。競技者本人が○付けを行う。その時ナンバーカードをつけたユニフォームを掲示すること。
- (2) 1 次招集時刻は以下の通りである。

種 目	開 始 時 刻	完 了 時 刻
トラック・リレー種目	競技開始 50 分前	競技開始 30 分前
フィールド種目	競技開始 60 分前	競技開始 40 分前
棒高跳	競技開始 90 分前	競技開始 70 分前

- (3) 2 次招集は現地にて行う。トラック種目は競技開始 10 分前、フィールド種目は 30 分前とする。なお、男子 5000m の 2 組目以降については、直前の組のスタート後に次の組の招集を行う。
- (4) リレー種目のオーダー用紙は、招集開始の 1 時間前までに、競技者係まで提出すること。リレーの招集は 4 人とも受けること。
- (5) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者は、招集時間内に重複出場届（競技者係にて配布）を競技者係に提出すること。尚、出場種目の重複により 1 次招集に来られない場合は代理人が 1 次招集を受けないといけない。
- (6) 棄権は原則として認めない。しかし、やむを得ず棄権する場合は競技者係に連絡すること。

4. 当日エントリーについて

- (1) 当日エントリー希望者は出場希望の種目が行われる当日の午前 7 時 30 分から招集開始時刻の 1 時間 30 分前までに、室内練習場内競技者係に申し出ること。ただし午前 7 時 30 分から午前 8 時 45 分までは競技場 1 階の正面玄関前にて行う。なお午前 10 時 30 分までに開始する種目については 8 時 00 分に受付を締め切るので注意すること。（当日エントリー一覧表参照）
- (2) 当日参加者も 1 次招集を必ず受けること。
- (3) 当日参加料は 1 種目 1 名 1000 円とする。
- (4) 4×100mR・4×400mR・棒高跳の当日エントリーは行わない。
- (5) 競技運営上の都合により、当日エントリーの人数を制限することがあるので注意すること。また、受付終了時間になる前に制限人数に達してしまった種目は受付を終了する。終了種目は競技者係で掲示するので確認すること。
- (6) 100m など同種目で開始時刻が異なる種目のエントリーは、最初の組の開始時刻に合わせてエントリーすること。

5. ナンバーカードについて

- (1) 平成 22 年度関西学生陸上競技連盟登録者は連盟登録のナンバーカード
高体連登録者は高体連登録のナンバーカード
陸協登録者は陸協登録のナンバーカード
を胸部、背部に付けること。（但し走高跳、棒高跳についてはどちらかでよい）
- (2) トラック種目については競技者係で配布する腰ナンバーカードを右腰部に明瞭に付けること。また 1500m・3000m・5000m・3000mSC については腰の両側に付けること。尚、このナンバーカードはゴール後直ちに回収する。途中棄権の場合は競技者係に返却すること。

6. トラック種目について
- (1) トラック種目は次のラウンドを行わない。
 - (2) 全天候舗装のため 9mm 以下のスパイクピンを使用すること。
 - (3) トラック種目は電気計時（1/100 秒）にて行う。但し、機器の故障などトラベルが生じた場合、手動計時（1/10 秒）に切り替える場合がある。
7. 不正スタートについて
- (1) 不正スタートと判定された競技者は失格となる。
 - (2) スタートの号令は英語で行う。
 - (3) 不正スタートの判定は目視にて行う。
 - (4) 不正スタートの判定の参考資料として、ビデオ撮影を行う場合がある。
8. フィールド種目について
- (1) フィールド種目の試技は 3 回とする。
 - (2) 全天候舗装のため 9mm 以下のスパイクピンを使用すること。但し、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。
 - (3) **投擲種目はペグ計測とする。**練習投擲は原則として 2 投までとする。ただしハンマー投は 1 投とする。また投擲審判主任が時間に考慮した上で変更する場合がある。
 - (4) フィールド種目において 2 回目以降を棄権する時は審判員にその旨を申し出ること。
 - (5) 男子の砲丸投・円盤投・ハンマー投に関しては大学生・一般者の試技を先に行い、高校生をその後とする。
 - (6) 持参したやりを競技で使用する場合は、**競技開始 1 時間 30 分前に用器具庫横にて行う検定に合格したもの**に限り使用を認める。
 - (7) やり・ポールの郵送をする場合は 8 月 10 日（大会 1 日目）に競技場付けで郵送すること。受け取りは各団体で行うこと。また、返送も各自で手配すること。上記期日より前の郵送は認めない。
 - (8) 三段跳の踏切板の位置に関しては男子のみ試合当日に審判・選手で協議した上で決定する。また、女子は 9m とする。
 - (9) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。尚、ここに記載されている高さより低い高さでの試技は、原則として行わない。

	種目	ピット	練習	試技開始	
男子	走高跳	A ピット	2m00	1m85	以後 5cm 刻み
			1m80		
		B ピット	1m80	1m50	
			1m50		
	棒高跳	A ピット	4m60	4m30	以後 20cm 刻み ※4m50cm 以後 10cm 刻み
			4m20		
		B ピット	3m60	2m50	
			2m50		
女子	走高跳	A ピット	1m50	1m50	以後 5cm 刻み
		B ピット	1m35	1m35	※1m60cm 以上 3cm 刻み
	棒高跳	A ピット	3m70	3m40	以後 10cm 刻み
			3m30		
		B ピット	3m00	2m60	
			2m50		

9. 競技場使用について

- (1) 開門時間は両日とも北西門・南西門は 8 時 15 分、スタンド 8 時 30 分、閉門時間は両日競技終了 30 分後とする。
- (2) トラック内での練習は両日とも競技開始 15 分前までとする。ただし大会準備の邪魔にならないよう気をつけること。
- (3) 1 日目、2 日目ともに全競技終了後、主催者の指示に従い速やかに競技場から退出すること。
- (4) 使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用すること。
- (5) 競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- (6) グラウンド以外はスパイクで立ち入らないこと。
- (7) **競技場内、及び招集場所で携帯電話・音楽再生機器・無線機などの持ち込み・使用を禁止する。**
- (8) 芝生内はすべて立ち入り禁止とする。
- (9) 器具の破損・紛失については、その選手及び補助員の所属団体、学校より必要代金を徴収する場合がある。
- (10) 競技場のトラック・フィールド内には、審判員・選手・補助員以外の立ち入りを禁止する。
- (11) 競技終了後、選手は指示に従って速やかに退場すること。またその際、大会本部前の通行は禁止とする。
- (12) **フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用后必ず撤去し持ち帰るか所定の場所へ捨てること。**
- (13) 全競技終了後、各団体は周りの清掃をすること。**ゴミは分別して、指定された場所へ捨てること。**

10. その他

- (1) 関西学生陸上競技連盟加盟校は割り当てられた学生審判・補助員の派遣をしなければならない。
- (2) 参加者の競技中の発病・負傷に対して、主催者は応急処置以外の責任を負わない。
- (3) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- (4) 陸上競技者としてのマナーを著しく逸脱した行為が見られる場合、その選手の所属団体、学校の以後の競技を中止させる。
- (5) 当日エントリーの人数によっては競技日程の調整を行う場合がある。
- (6) 車での来場は出来るだけ控え、**公共の交通機関を利用し来場すること。**
- (7) その他、不明な点は主催者まで問い合わせること。

関西学生陸上競技連盟